

設問1

理学療法室で成人患者が目の前で突然倒れた。患者の肩をたたいて大声で呼びかけたが反応がない。次に行う行動として最も適切なものを1つ選べ。

A1	血圧を測定する。
A2	脈拍を測定する。
A3	AEDを取りに行く。
A4	大声で周囲に助けを求める。
A5	胸骨圧迫と人工呼吸を開始する。

正解 A4

AHAガイドライン2020の医療従事者向けの成人に対するBLSアルゴリズムでは、反応の有無をチェックした後、大声で周囲に助けを求めることが推奨されている。

設問2

ペースメーカー等の植込み型デバイスを使用している成人患者に対するAEDの使用について、正しいものを1つ選べ。

A1	AEDの使用は禁忌である。
A2	AEDパッドをデバイスの直上を避けて装着する。
A3	AEDを使用する前に、デバイスの電源を切る。
A4	デバイスへのダメージを考慮して、小児用パッドを使用する。
A5	全てのデバイスに除細動の機能が搭載されているため、AEDを使用する必要はない。

正解 A2

デバイス植込み患者には、デバイスの直上を避けてAEDパッドを装着する。成人に対して小児用パッドは使用してはならない。

設問3

成人に対する胸骨圧迫の深さとテンポについて、正しいものを1つ選べ。

A1	1分間に50～60回、約2cmの深さで圧迫する。
A2	1分間に80～100回、約4cmの深さで圧迫する。
A3	1分間に100～120回、約5cmの深さで圧迫する。
A4	1分間に130～150回、約7.5cmの深さで圧迫する。
A5	1分間に180～200回、約10cmの深さで圧迫する。

正解 A3

胸骨の下半分の位置に、1分間に100～120回のテンポで、毎回少なくとも5cmの深さで圧迫する。

設問4

重度の気道閉塞を伴う窒息を起こした反応のある成人患者への対応について、正しいものを1つ選べ。

A1	盲目的指搔き出し法を行う。
A2	血圧と脈拍を測定する。
A3	胸骨圧迫を行う。
A4	酸素投与を行う。
A5	腹部突き上げ法を行う。

正解 A5

反応のある成人患者には腹部突き上げ法(ハイムリック法)を行う。盲目的指搔き出し法は禁忌である。患者の反応がなくなった場合、胸骨圧迫からCPRを開始する。

設問5

心肺蘇生法について、正しいものを1つ選べ

A1	気管挿管等、高度な気道確保が行われた場合には、人工呼吸のために胸骨圧迫を中断しない。
A2	AEDが患者の心リズムを解析している最中、胸骨圧迫を中断しない。
A3	胸骨圧迫を行う度に、胸郭を完全に元に戻さないよう胸部にもたれかかる。
A4	小児の心停止で最も多い原因は、心疾患によるものである。
A5	乳児に対して行う補助呼吸は、口対鼻人工呼吸である。

正解 A1

高度な気道確保が行われた場合には、胸骨圧迫と人工呼吸を非同期で行う。AEDでシンリズムを解析している最中は、患者から離れる。胸骨圧迫を行う度に、胸郭を完全に元に戻す。小児の心停止の最大の原因は呼吸不全によるものである。乳児に対して行う補助呼吸は、口対口・鼻人工呼吸である。